

第3回 施設整備部会 議事録

(1) 日 時：令和8年3月12日（木）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（8名）欠席2名、事務局7名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議報告事項

(1) 工事の進捗状況について

① 勝山中学校校舎等建設工事について

② 地下横断歩道建設工事について

(2) 給食調理業務委託について

(3) 備品精査について

③ その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議報告事項》

（工事の進捗状況について）

部会長 ・レジュメにしたがって会議を進めたいと思う。まず、工事の進捗状況に関して、新中学校の校舎建設工事と地下横断歩道工事について一括して事務局から説明をお願いしたい。

事務局 ・私の方からは、資料1の新中学校校舎等建設工事と資料2の地下横断歩道建設工事について説明する。第2回の部会が10月25日、それ以降の工事の進捗を既にホームページ等でも上がっているが、改めて説明する。まず資料1の1ページ目だが、中学校の建設現場の状況になる。①は長山公園の上の方から写した写真でちょうど長山公園の西側から順に基礎工事を始めていた時の状況になる。その右側が②で奥に見えるのが勝高の体育館で今度は現場の方に降りた形の写真となる。丸いのが杭の頭、杭頭と言って、それと基礎をつなぐ工事ということで、下の③、④がそれらを鉄筋で繋ぐという工事を11月終わりから12月頃にかけてやっていた。続いて2ページ目をご覧ください。こちらの方も①は長山公園から撮った写真となる。順次8校区に分けて、基礎工事をやっているという状況で、②の基礎工事だと、右側の奥の方は勝山高校の特別教室のリノベーション工事の足場が組まれている状況なので、そういった形で順次進んでいる。そして③が基礎の梁というが、それが出来上がった状況で、④はさらにそこにコンクリートを打ち込んだ状況になる。3ページ目をご覧ください。1月25、26日から、2月にかけて、降雪があった。降雪で数日間、除雪作業が現場の方もあって、こういった入り組んでいるところは人力で排雪をさせていただいた。そこに、数日はかかったが、現場の方で一生懸命作業をして工事を進めている。①、②は、そこに雪が積もった状況で、③、④は、除雪をしながら、配筋工事という形で行なった。次の4ページ目をご覧ください。こちらの方が校舎の最新の状況で①が基礎工事と西側の方は1階の躯体工事と言って建物の床の方の工事が始まった。②は国道側で、いよいよ基礎工事も最終の方に来ていて、③は床の鉄筋を並べている状況で、④はそこにコンクリートを打っている状況で建物の躯体というか基礎工事が終わったものは順番に西側からそういう形で進めていく。続いて、資料2の地下横断歩道建設工事をご覧ください

い。12月頃の様子で二次施工と言って、ちょうど国道の中央分離帯の中に、ボックスカルバートというコンクリートの専用を据え付けた内部の状況である。②はその外側を埋め戻して、左側③は矢板を引き抜いている状況で、④で二次施工完了になる。冬期間は工事を一旦ストップして交通を開放するというので、12月中旬頃には一度交通を開放している状況である。そして、2月25日のホームページでも報告させてもらっているが、3月2日から、三次施工と言って、赤色の工事区間だが、一次、二次、三次と3つに区切って最後の勝高側の部分を3月2日から交通規制を開始させていただいた。下の方にあるように、片側2車線がそれぞれ1車線に規制をさせていただいている状況になる。現場はそういった形で今動いている。3ページ目の写真をご覧ください。①が大野側から見た交通規制で②も一車線になっている状況で③はトンネルを抜けて大野方面に向かうところの交通規制の様子になる。④は公園側の昇降路の部分の地下横断歩道の工事の方も矢板を入れている状況になる。説明の方は以上。

- 部会長 ・今ほどの説明について、意見や質問はあるか。よ
- 委員1 ・工期のスケジュールは大丈夫なのか。
- 事務局 ・現場の方が、降雪とか、2月、3月ぐらいは試験等の学校行事で5日現場を止めている状況があった。しかし、その部分を土曜日に仕事をしたりして、現場の方は遅れを少しでも取り戻すような形で、今のところは順調にきているという状況で聞いている。
- 委員2 ・分かった。それにあたって、環境測定をするかと思うが、ここに高校生がいて臭いとかは何も発生していないのか。最近子ども達はこの臭いに敏感だということを知っている。この急ピッチで進めるにあたって、測定して大丈夫なのかという心配があった。
- 事務局 ・現場の方は、先ほども申し上げたが、学校側の要請があつて、音の関係はまず試験とかいろいろな行事ごとで止めてほしいという場合は止めている。そして環境の測定ということで揮発性とかは、現時点ではそういった資材が入っているわけではないので、今のところは発生はしていないと承知している。併せて勝高側のリノベーション工事でも解体の粉塵とかをしているので、そちらの方も気をつけてやっているということで聞いている。両工事とも、生徒たちには支障のないように進めていくので、よろしくお願ひしたい。
- 部会長 ・他には質問とか意見はあるか。高校の玄関のこととか高校側からの話はないのか。
- 事務局 ・毎月二回ほどだが、定例の打ち合わせをしているので、その中でも、高校側から来ていただいて、どんな状況かとか、音の問題とかいろいろな不安とか質問がある場合は、そこで皆さんと情報を共有して、その対応をしている状況で、その辺はしっかりと言いながら工事を進めていきたいと思っている。
- 部会長 ・ジオアリーナ側の方も交通規制がかかったということで、またいろいろ周辺の方々にもご迷惑をおかけするかもしれないが、粛々とよろしくお願ひしたい。

(給食調理業務委託について)

- 部会長 ・では、次の議題に進めさせていただく。給食調理業務委託について説明をお願ひする。

事務局 ・給食調理業務委託について説明する。資料3をご覧ください。校舎に併設している給食調理室について、保護者から要望のある自校式給食による温かい給食を提供したい。アレルギー対応などきめ細かな配慮を継続しながら、中学校給食の調理業務等を民間事業者の優れた調理技術や衛生管理能力等のノウハウを活用し、より安全・安心な給食を提供するという趣旨である。概要だが、現状ということで3中学校も業務委託という形になっているが、デリバリー方式という方式になる。ご飯についても同じように配送という形になっている。給食数については、現在543食を委託業者の方から届けていただいているという状況になる。開校後どのように考えているかと言うと、運営方式は業務委託ということになる。先ほども触れたが、校舎に併設した給食調理室で業務委託による自校式の給食を提供したいと考えている。給食調理室内に炊飯できる設備を用意して、ご飯も同じように提供する。令和9年度の4月で、大体、生徒さんと教職員を含めて500食ぐらいになる見込みである。そして調理員の人数としては、発注の業務なども含めて6人ぐらいが必要かを見込んでいます。業務委託をお願いする業務の範囲ということで、食材の発注、検収、調理業務、そして配食・運搬・回収、食器・調理器具等の洗浄、消毒・保管・ゴミの処理、食材の在庫管理、諸帳簿の記録、そして設備の清掃及び日常点検業務、その他付帯する業務ということで、仕様書を準備している。委託については、今議会の方で予算を見ていただいているところだが、ここで令和11年度までの債務負担行為を提出している。スケジュールとしては、既に議会とか教育委員会の方には説明をされていて、今3月議会の方で予算を見ていただいているところになる。新年度に入って、6月から業者選定手続きということになると思うが、準備ができ次第、進めていきたいと思っている。そして8月には業者を決定して契約をしたいと思っている。業者さんの準備期間ということだが、建物が出来上がるのが3月12日、契約ではそのようになっている、業者の選定は入札を考えているが、業者さんは図面を見て判断していただくということになる。仕様書も準備しているが、仕様書と図面で判断していただくということになる。9月から業者の準備期間ということになるが、人材の確保とか、そういうことも含めてお願いしたいと考えていて、この時期の契約ということを考えている。そして3月に給食室が完成してそこで実際に練習みたいなことも必要かもしれないが、4月の給食に備えたいと考えている。これは議会とか教育委員に説明した内容になる。説明は以上。

部会長 ・整理をさせていただきたいが、給食室をつくることはもう決定している。もう工事をしている。この話としては業務委託をしたいというので、この内容でこういうスケジュールでやっていいかというようなことを諮るということでよろしいか。では説明した事に対して意見とか質問はあるか。

委員1 ・一部の会員さんから少しどうかという意見があった。中学校にも今給食の受け入れをする方はいらっしゃるのか。いらっしゃる。その方は受け入れ業務だけか。

委員2 ・加えて、デザートというかフルーツの準備をする。

委員3 ・一応調理師免許を持っておられるとなると中学校が1校になった時に今勤めておられる中学校の調理師さんが、小学校のキャパも埋まっているので、行

くところがないと思う。業者選定となった時に、調理師免許を持っておられる職員さんで必要な人数が6人ということであれば、3人はそっちに行ってもらって、新たに3人採用するというやり方でも、いいのか悪いのか。調理委託ということなので、食材の発注というのは、何か決められたルートがあるかと思うが、この食材というものに関しては委託業者が何か献立を考えて、それに対しての食材の発注をするわけではなくて、小学校の学校給食みたいにそのところから仕入れて食材を作るというやり方なのかどうかを知りたい。

事務局 ・今現在3中学校の給食はデリバリー方式という形になっていて、これも業務委託している。今3人の職員さんがそれぞれの学校へ配達に行き、それぞれの学校の給食室でフルーツのカットとか配膳の準備のようなことをしていただいているが、この3人は委託業者の職員さんになる。業者の選定手続きの中で、どういうふうにするかということも、これからきちんとしていかなければいけないが、福井市でも専門の業者さんが入って業務委託を受けて、調理業務をやっているというような学校もある。まだ業者さんはどこになるのか分からないが、決まった業者さんの職員が、給食室に来て調理するという形になる。もう一点、食材の発注のことだが、今はメニューは学校の栄養教諭が考えている。そのメニューに従って食材を発注していただくことになるが、それを受託した業者さんをお願いしたいと思っている。一応今取引のある業者さんは大体分かっているが、その業者さんを市が指定するという形で、希望は聞かないといけないが、希望のあった業者さんを指定して、そこに発注するように受託した業者さんをお願いしたいと考えている。

委員4 ・給食で勤められている人が給食の方かなと思った。給食の方はどうなるのかと思っていたが、委託業者であれば別にどうも思わない。もう一つ意見があったのが、なかなかそれは無理だろうという話で、あたたかい給食を出してもらえということはずごく感謝する中で、その人は地産地消で地元で取れたものを活用してという思いを訴えられた。それもあるけど、年間通して地産地消は難しいだろうと言ったがまだ納得はしていないみたいだった。今後の会議においても、そういう話は出るかもしれないということだけ聞いておいてもらえればと思う。

事務局 ・地産地消については、議会の方からも強く意見がある。やはり地元の食材で全部賄えるかということ、そういうものでもなく、農家さんに給食で使うからこれだけ作ってくださいということをお願いしても、農家さんの能力があって、なかなかこれは難しいと思っている。ただ、地産地消は意識して、メニューを作っていただきたいと思っているし、発注の方もしていただくように努めていきたいと思っている。それから、県の事業でプラスワン給食と言って、準備しているメニューの一つプラスして福井の特産品を一品プラスする。月に1回ぐらいはそういう特別な給食ができるようにしている。次年度は月に1回ぐらいできるように準備していて、10回全部、勝山産の品物を用意したいと考えている。

委員5 ・先ほど3月12日に完成というところで、試運転とかが必要かなと思うが、この1ヶ月の間で試運転とか、実際給食の試食とかはするのか。

事務局 ・その時になってみないとということもあるが、試運転みたいなことはしてい

ただかないといけないと思っている。3月12日にならないと中に入れないかというようなことをいろいろ聞いているが、中に入って見るだけでも、業者さんが決まっている時期なので、そういうことが許される時期になったら、中に入って見ていただいて、準備に取りかかかっていただきたいと思います。ただ試運転みたいに実際に調理してということが出来るかどうかは、またその時になってみないとということはある。

- 委員6
事務局
- ・もし仮にトラブルが発生したら対応する時間はあるのか。
 - ・そこは業者さんをお願いするしかない。こういうスケジュールになってしまうということをあらかじめお知らせして、応札していただくしかない。
- 部会長
- ・検討されているかもしれないが、仮使用申請というやり方もあるかなと思った。業者さんが決まって、10日間ぐらい中を見たいということであれば工事中でも中に入って使うことができるという申請の仕方がある。ただ給食室ができていないとそれは見ても仕方がないと思う。僕も結構やったことがあるので、その時に問題なく申請はできる。そういうことも、業者が決まった中で検討に入れていただければと思う。その他には、意見はいかがか。業者さんの契約期間は単年度なのか数年置きなのかということと、業務委託ということで、ある程度の業務委託料で支払う中で材料費は別ということで生徒から徴収する形になるのか。
- 事務局
- ・議会の方をお願いしている予算の中で令和11年度までの債務負担というか、長期契約をお願いしている。契約開始が令和8年の8月か9月なので令和8年度中は準備期間ということで、令和9年から資料が間違っている。令和13年度まで5か年の長期契約ということで、議会の方に予算をお願いしている。8年度の半年は準備期間ということで、契約をするが、金額は発生していないという流れになる。食材費だが、全然別の話で、公立小学校の給食無償化で、国の方が支援して下さるようなことになって、保護者負担は取らないというような方針で、勝山市は保護者負担にさらに米の代金とかも市が負担して、給食を提供していたが、その分も市が負担して保護者負担を無償にするという方針で予算をお願いしている。中学校も同じように国の方から支援はないが、小学校と同じように保護者負担をいただかずに、すべて市の方で負担するというふうに考えている。8年度からそのような形で準備を進めている。
- 部会長
- ・他にあるか。
- 委員7
事務局
- ・ここでは公会計化していただけるのか。
 - ・今給食費の無償化をするということで、国の方からは公会計化は推進ということで指導があるが、今回無償化と合わせて公会計化は条件にはなっていない。いずれはしないといけないと思っているが、なかなかいろいろ検討事項があって、時間をいただきたいと思っている。
- 委員8
事務局
- ・9年も学校で会計をしなければならぬということか。
 - ・お願いしたいと思っている。
- 委員9
事務局
- ・500人になる。
 - ・お願いしたい。
- 委員10
- ・これはお願いになるが、欠食の扱いが煩雑すぎる。今たった100人の学校でも担当者は悲鳴を上げている。そこも何か枠組みをできたら緩めてほしい。

今は一日単位で一食、牛乳一本あたりで欠食を計算しているの、ベテランの教員が会計をしているが、それでも正直悲鳴を上げているので、何か枠組みをお願いしたい。

事務局 部会長 委員 11

- ・ご意見を承った。よく考えていきたいと思う。
- ・他にはよろしいか。

委員 11

- ・言われた欠食ということだが、小学生だとご飯がこれだけで、スープがあって割と一人当たり食べる量が少ないので、何とか賄えているのかと思う。中学校の給食となると、育ち盛りの子なので、量もそこそこ食べるだろうし、小学生にプラスアルファのそのプラスアルファが少しぐらいつけた量では物足りないと思うと、予算化とか物価高騰だとかとなった時に食材も値上がりしているの、給食のメニューにこれだけしか出せないというような逃げ方をするぐらいだったら、中学校は一部負担という形でもいいのではないのか。それで充実した給食を食べさせてもらえるのであれば、納得してもらえるのではないのかなと思う。

事務局 部会長

- ・一食あたりの単価は内部できちんと持って準備を進めている。やはり保護者負担はいただかないという方針で進んでいるので、ここは頑張りたいところだと思っている。現場の協力も必要になるが、頑張っていきたいと思う。

部会長

- ・関連して聞いてもいいか。例えば、もっと食べたいという人は別に弁当を持ってきてもいいのか。

事務局

- ・給食の量というのは、国の方で基準が決まっています、それに従って用意しているの、現場でそんなことがあるのか。

委員 12

- ・食べないというのはないが、後半お腹が空き始めるのは確かにあるかもしれない。部活終わるまでは食べられない。一年生の食べる量は少ないかもしれない、三年生は多いと思う。食べていない分を一年生が持っていったりして、結構みんなで分け合って、給食の時間では満ち足りていると思う。お腹が空くのは早い。

委員 13

- ・昔は家から弁当を持っていった。あの当時は購買部があって、そこでパンを売っていた。そういうのは今回はあるのか。

委員 14

- ・今はない。高校はある。

委員 15

- ・例えば、高校のところまで行って買うということはどうか。

委員 16

- ・それは別の問題になる。今は頑張って給食をたくさん食べる。

委員 17

- ・節度としてそういうことはしない方がいい。

(備品精査について)

部会長

- ・では次に移る。備品精査についてということで事務局から説明をお願いします。

事務局

- ・資料4をご覧ください。第二回目にもこれは提示させていただいている。上の表の新中学校校舎、それから特別教室棟、これは勝山高校さんの校舎を利用させていただくもの、それから今話があった給食室棟の三つに分けて、新しく買う備品、現中学校から持っていく備品、その際の経費を表にまとめたものになっている。これは今予算審議中で、この通り要望しているものになる。その他の備品だが、体育備品関係を勝山高校さんと相談してスペースを考えて移動できないかを今検討している。図書の本は半分ということで、だいたい選定作業は終わった。勝山高校は1から登録をし直して下さっている。それは中学校の本と勝山高校の本を両方借りられるようにということ

で、市立図書館のシステムに組み込めるように登録作業をしていただいている。勝山高校さんも精査していただいて中学校も精査していただいて、それをまた持ってくるということになっている。その他いろいろなものがあるが、これはまだそのまま残っている。これは今から相談してやっていきたい。それから部活動の備品は、これも地域移行が現在は地域展開という言い方をしているが、部活の担当と勝高さんと3中とで協議を進めていくことにしている。大きな動きとしてはこのスケジュールで、この7年度の3月、年度末を中心に新中学校に持っていくという備品に印をつけていただいている。いわゆるラベリング作業を3中学校でしていただいている。どれを持っていくのかよくわからないので、一応備品名簿と合わせて、これを持っていくというものにシールを貼っていただいている。ものによってはシールが貼れないものもある。今春休みに向かうが、今持っていても、支障のないものを移動できたらいいかなと思ったが、なかなかない。三番目に今度の夏休みにはもう3中学校の図書館は閉館になる。つまり夏休みが始まったらすぐに、今分けていただいた3中学校の本を中部中に一旦全部集める。市立図書館の再システム登録をする。ダブっている本もあるとか保管されているデータと合わせる作業をしていただく。勝高の本もしていく。その作業のために、3中学校の図書館は夏休みで閉館にさせていただく。次だが、特別教室棟へ移設作業するものとしてピアノの移動と技術の移設がある。これは特別教室棟の工事の進捗もあって、これは別途県と協議をしたい。一応特別教室棟は11月末に工事が終了し、1月から勝高さんは授業をしたいといわれるので、冬休みが中心だが、もしかするともう少し早く運んでほしいとも思えない。この辺りは相談になる。残りは運べるものを冬休み中心に運ぶということになる。最後は残りのものということで、ここら辺りのスケジュールを8年度に入ったら業者とも詰めて組まない大変になってくると思っている。その他留意事項としては特別教室棟、新中学校校舎ともに建設工事と共に連絡調整会議も両方ともさせていただいている。進捗を見ながら進めていきたい。特に来年の今頃は日程が過密になっているので、早めの調整をして計画したいと思う。行事だけでもたくさんある。余剰備品がそれでも残るので、これは9年度開校してから以降に計画ということになると思われる。主な動きとしてはラベリングが始まったということと、図書が夏休みに大きく動くということになっている。

- 部会長 ・今の説明について質問や意見はあるか。
- 委員1 ・これは最終はどうなるのか。市立図書館のバーコードシステムをそのまま勝高も中学校も全部共有するという仕組みになるということか。
- 事務局 ・そういうことになる。中学生は勝山高校さんの本も借りられる。あるいは勝高生は同じカードで中学校の本も借りられる。
- 委員2 ・例えば中学校の図書室内で、パソコンで例えばこの本がどこにあるのか分かるようになっている。その時に、例えば福井だと県立図書館で返却場所を県立図書館に持ってこなくても、例えば学校に預けておけば、それはまた持っていく人が必要になってしまうので、不都合はあるかと思うが、返却は借りたところで返却するというルールなのか。
- 事務局 ・大きな図書館を二階に作ることにしている。中高共用だが、そこに返却ボッ

	<p>クスは2個設置することになっている。高校側と中学校側で作ることになっている。そこへ返却することで、専属の高校の司書さんがおられるので、その方がちゃんと管理されていると思う。もちろん、図書委員というか、子ども達も動くとは思いますが、そういう管理になると思う。</p>
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館で借りた本を学校側で返却するという事は、基本的にはダメということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それは今のところできない。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・間違っ返却してしまうことがあるかもしれない。同じようなバーコードを使っていると、どうしても誤ってそういうことがある。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはあるか。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいことで確認になる。施設員室について質問させてほしい。心配していることが、施設員室の持っていくものも相談をされていると思う。施設員室の場所が一般教室の前、しかもその横は放送室になっていると思う。作業をすると、音が心配になる。場所は動かないと思うので防音の内張りみたいなことをお願いしているのかを確認したい。もう一つは外に倉庫が建つというのも、そこに何を運び込むのか。そこで作業はできるのか。水とか電気はお願いをしているという話だった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・施設員室は、確かに言われるようになりが放送室になっている。そこは施設員さんが休む部屋にもなっている。作業をそこでガンガンするのではなくて、少し離れたところに作業部屋がある。そこで作業をしてもらう。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外になるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地下横断歩道に突きあたる受水槽という水を入れるところになるが、そこにその施設ができる。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・冬でも行ってするという事か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つ別に体育の備品用の大きい倉庫もある。ここは体育備品をとると思うが、空いたスペースで例えば外用の箒を置くとか、そういうことは可能になってくるとは思う。高校は高校で施設員さんがいるので当然話し合っ共同で使おうということもあるかもしれないし、そこら辺は臨機応変という感じかなと思っている。一応施設員さんが作業をされる場所はある。休憩する場所もある。その何を持っていくのかというのはまだだが、運んでほしいというものをとにかくまずは優先して考えていっからになる。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなところから意見があっったが、閉校式に卒業生は参加できるのかどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校式、開校式、落成式について、今どのようにしていったらいいかということを検討している。特に閉校式については、3月30日ということで、こちらとしては、できるだけ卒業した子達も一緒に来てほしいなと考えている。ただ、卒業した子なのでどのような形で案内するかなど検討したい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他によろしいか。余剰備品等の精査は9年の4月以降に計画をするということだが、それは別の部会に引き継がれるという認識か。施設整備部会で計画されるというよりは、別の会で審議されていくということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・時限立法的なものがあるので、この準備委員会が令和9年度もやるのかというところではなくて、当然令和9年度になった時には、今度は教育委員会の

方です。例えば開校しても、もしかすると取りに行かなくてはいけない備品とか、これは要らなかったとか、そういう作業がある。さらにその後、議会からも質問があったが、例えば公共施設にお譲りするとか、小学校とかまちづくり会館とか、そういったところにお譲りするとか、最後は大野市がされたような市民の方に販売するというようなこともあったりする。それは少し長いスパンなのでこちらの方でということになると思う。

部会長 ・後はよろしくお願ひしたい。他には大丈夫か。では基本的に事務局提案で備品精査については進めるという形でお願ひする。その他について事務局から何かあるか。

(その他)

*九頭竜中学校の内覧会での校舎内写真を投影し、見ていただく。

事務局 ・せっかくなので、皆さんのご意見を聞かせていただければと思う。それは中学校校舎の外壁の色になる。今の設計でいただいているプランは、地層をイメージして学びの丘というコンセプトで設計していただいたので、最初にいただいているのはちょっと茶色っぽい、土の色っぽい色にしてはどうかという提案をいただいている。これについては、議会で説明した時には、勝山高校の校舎は白っぽい壁だとその隣接する新中学校が茶色っぽい、それから道を挟んだジオアリーナも白になる。色の調和的にどうなのかという意見もいただいている。校舎の色を決めていかないといけない時期になってきて、いろいろ相談もしているところだが、そのことについて、皆さんの意見をうかがいたい。

委員 1 ・前にいただいた図面のこの色か。

事務局 ・それになる。基本的に茶系を元にプロポーザルでも設計業者から提案を受けている。必ずこの色にしなくてはいけないというわけではないが、今申し上げたとおり、地層・地質をイメージした中での色になっている。

委員 2 ・このピンク色の線は何か。

事務局 ・そこは舗装とグラウンドの間の芝桜をイメージしている。そこら辺もまだはっきり決まったわけではない。

委員 3 ・CGだとそんなに違和感はない。ちなみに勝高の寮は何色か。

事務局 ・白を基調にしている。

委員 4 ・違和感を感じない。

委員 5 ・区別するという意味ではこれでいいのではないか。

事務局 ・それは中学校の絵だけなので、勝山高校の校舎がかいてあるわけではない。

委員 6 ・一緒に入れているものがあつた。こんな感じだ。

委員 7 ・こういうイメージだと市が自信を持って言えるのであれば、地質をイメージしてという茶色でもいいのかなと思う。見る限りこのCGではまだ薄い方なので、それが濃くなるとちょっと違和感がある。

委員 8 ・グラウンドに近い色になる。

委員 9 ・春になるとこの辺りが全部ピンクになる。

事務局 ・植樹を今進めている。

委員 10 ・色に関して何か検討委員会とかで決めたわけではないのか。

事務局 ・それはない。プロポーザルの提案の時に、茶系の色の提案があつて、先ほど

	話があった周りの色との話も出てきたので、皆様のご意見を伺いたい。
委員 11	・人に聞けば聞くほど広がる。コンセプトだけしっかりしていればいい。信念をもってやればいい。ちょっとマンションぼく見えるかなと思う。しかし高校と中学校と色分けしていいのではないか。
事務局	・ちょうど特別教室棟がリノベーション工事をしているが、そこも実は壁の色を中学校と合わせるとか、県と別々に考えて白にするとかというのはまだ余地がある。
委員 12	・色分けをしておけば、管理がしやすいのではないか。
部会長	・設計事務所の意見も聞いてもいいのではないか。特別教室棟を白にしたパターンと茶色にしたパターンをCGで直ぐに作ってくれると思う。頼んでみてもいいのではないか。コンセプトという中で考えていくと、そこも含めてコンセプトになる可能性があると思う。
委員 13	・これまで部会で資料をもらって、みんなが目を通していて全然違和感はなかった。
部会長	・経験談から言わせてもらおうと色って結構好みが出る。いろいろ説明していく中で、一番コンセプトというところに帰っていくほうがいいと思う。今まで言われたように再編準備委員会で異議が出てこなかったのでもいいのではないか。議会でもいろいろあるとは思いますが、そこはコンセプトの案で進めていただければと思う。
部会長	・その他に何かあるか。
委員 14	・今回のこととは別になるが、親御さんから多い意見があって、体育の時の着替えというのは、女子生徒は教室で男子生徒は廊下になったのか。
事務局	・教室にはロールカーテンがあって仕切るようにはなっていて、そこをどうするかということになる。基本的には女子は教室の中かなという感じはするが、別に時間を決めれば男子も着替えられる。男子も教室向かいにはまた別の部屋もある。一年生だと一階のそういう空間、二階だと多目的室とか、三階だとまた別の部屋がある。そこは学校の運用かなと思う。同じところに入って一緒ということとはできないので基本的には女子は教室でという形にはなると思う。男子は廊下かということではなくて、そういう少し入った場所で着替えるということかと思う。
委員 15	・自分たちの時代と違って、スマートフォンの普及が激しくなって、盗撮とか、そういった被害が出かねないので、完全に区別化するか対策を取っておいた方が、今後のトラブルになるのではないかなと思った。
事務局	・体育館にも実は男子更衣室、女子更衣室があって70何個のロッカーがあるので、3クラス分ぐらいは入れる。そういう着替えのスペースはある。ただすぐに着替えたいとかになると近くでとなるので、そこら辺は相談してということになる。
事務局	・そういう環境は作ったのでそれと学校がどう指導するかという話で、盗撮の話も大事で、そういうのことを踏まえて、学校の方でルールを決めてもらう。
事務局	・その他の件でよろしいか。実は校舎の色の話もあったが、皆さんにもしご意見をいただければということで、部屋のネーミング。例えば先ほどの九頭竜中だと15と書いてあったが、例えば英語表記するとか。またサインといって今のはプレートがついていた。そこを例えば勝山にちなんで織物の布を使

うとか、ふちだけ恐竜の何かにするとか、単純に今のようなアクリル板にするとか。どういうサインがいいのか、そしてそこに書く文字はどういうもの
がいいのか。もし皆さんでこんなものがあるのではないかとのご意見があれば
お願いしたい。

委員 16 ・普通でいいのではないか。

事務局 ・単純でいいと、小学校によっては英語の勉強をするということで、保健室の
下に例えばヘルスルームとかも書いている。しかし中学校はどうかと思
う。例えば、職員室にスタッフルームと書くのかとか。

委員 17 ・図書館の名前はメディアルームではないか。意外とカタカナ表記というのは
わりとイメージとして捉えやすい。漢字にしてしまうと例えば談話室とな
るとどうか。コミュニケーションルームとかにすると、意味合いがいろい
ろになる。カタカナの表記の方は割と頭にインプットしやすい。ただ1-1
とかは無理だと思う。例えばそれ以外の部屋は少しカタカナ表記とか、
何かを統一した方がいいような気もしなくはない。カタカナ表記の方が
分かりやすいと思う。

事務局 ・特徴のある部屋はそういうカタカナ表記もいいのではないか。

委員 18 ・クラス以外の部屋。英語表記してしまうと少し言いにくい。

委員 19 ・長山公園はどんな進捗か。

事務局 ・長山公園に関しては、他の課とも相談をし、この当初予算の中で今要求して
いるのは、1 塁側と 3 塁側の給水タンクとそれをうまく動かせるポンプを
要求している。それから整備にトンボというのも足りないということをお
聞きしたので、それも要求している。それから長山グラウンドへ行く坂
があって、今は土で行けるように少しならしてある。そこを舗装するよ
うなことも要求はしている。

委員 20 ・前回と何も変わらない。ずっと言っている天井のネット、ファールネットに
ついて、野球部なり、勝高と話すということで聞いていたが話をした
のか。

事務局 ・ネットということで庁内の話はしたが、やはりネットは今少し難しいとい
うことで、この春になってから、少し研究をして、勝高さんともど
んな形ならできるのか、他のところの自治体へ見に行つてどうし
ょうかという相談はしていこうとしている。

委員 21 ・10月にこの話をしたと思うが、なぜ話をしに行かないのか、9月議
会でも一般質問でされていたと思う。その時も野球部なりと話を
していくということをやっていたと思う。あれから半年も経つて、
なぜ何にも話をしに行くと
言つてなぜ行かないのか。

事務局 ・話は行つた。

委員 22 ・どんな話をしたのか。いつなのか。何月か。先生に言つていた。もし
教育委員会と話す機会があるのであれば、私も同席させていただ
きたいということで、連絡くださいと言つていたが、連絡がなかつた。
単純に私に連絡をしな
かつただけということもあるが、何月に誰と話をしたのか。

事務局 ・今回のその要望の時はこういうふうにしてほしいということで、タンク
のこととかこれはできるかなということ。

委員 23 ・私が聞いているのは何月に誰と話をしたのかと聞いている。

事務局 ・顧問の先生とどういう形がいいか、ブルペンのところを少し強化する。

- 委員 24 ・ネットのことで話をしてほしいと言ったと思う。他の学校もすぐ見に行くと答えたと思う。
- 事務局 ・ところがシーズン末になって行けなかった。それで春になってからにしますかという感じになった。
- 委員 25 ・ネットの話を10月以降にしたのか。
- 事務局 ・直接にはしてないように思う。
- 委員 26 ・なぜしないのがよく分からない。
- 事務局 ・いや、電話で言った形かもしれない。
- 委員 27 ・どんな話か。4月以降に話をしましょうという話をしたのか。
- 事務局 ・そうだ。
- 委員 28 ・顧問の先生か。
- 事務局 ・顧問の先生に。
- 委員 29 ・電話で言ったのか。
- 事務局 ・言ったと思う。
- 委員 30 ・適当なことを言わないでほしい。一応外部委員の会だから議事録も残る。
- 事務局 ・そこは定かでないから、分からない。
- 委員 31 ・していない。この部会と議会で言っていて。なぜ話もしに行けないのか。不思議でならない。どれだけ軽視しているのか。
- 事務局 ・軽視はしていない。できることを一生懸命やっけていこうとして、予算も取ってきた。だから少しずつやっている。
- 委員 32 ・前に言ったのは話をしに行くと言った。ネットとかどういうのがいいのかということ。まずは野球部の希望をネットに対して聞くという話をまずそれが入り口ではないか。それを話もせず途中で考えているという。なぜ話をしに行かないのかと聞いている。
- 事務局 ・春になるのでちゃんと話に行く。
- 委員 33 ・いや、私が言っているのはなぜ話に行かないんだということ。なぜできなかったのか。行くとって言った。議会でも部会でも言った。半年ぐらい前の話だ。
- 事務局 ・現状はつけられなかった。
- 委員 34 ・話に行けばいいのではないか。月1回勝高に行っているだろう。
- 事務局 ・行っている。
- 委員 35 ・その時に合わせて話をすればいい。どう思うのか。なぜ行かないのか。議会、外部委員、この部会でやると言ったことをなぜなやらないのか。
- 事務局 ・9月の議会では、現状を改善点を含めて説明をさせていただき、天井ネットのことは課題だというような説明をし、ここはまだ時間がかかるので検討を続けたいというような答弁だったかと覚えている。その後なぜ聞きに行かないのかというのは、直接そのネットのことだけでは行っていないと思う。6月か7月かその前に顧問と会った時には、そこではネットの話題は出た。その時にネットはなかなか大変だろうと思うので、それよりもブルペンの整備とか、先にやってほしいことがあるというような話もあったので、夏にかけて我々の方でそこは順次整備をしていったという状況なので、その中なので、改めてまたネットどうしますかというところはなかなか話がしづらい。ただ引き続きの要望も更にいただいているので、それは先ほど申し上げた当初予算に反映している。優先順位とか、そういうことも聞かせてもらいな

- ら、合わせて整備させていただくということで対応してきた。
- 委員 36 ・最後にするが、部会で言っただろう。「話をしに行きます。」「できる方法を考えてください。」「分かりました。足羽高校かどこかすぐに見に行きます。」と言われた。やってくれるんだ。嬉しいな。ですぐ2人の先生に教育委員会事務局がやってくれると言うから、また話があるから待っててねと言った。行ったのかと言ったら電話でとか、行っていないだろう。なぜ行かないのか。それはやる気がないから。時間切れを狙っているだろう。9年6月までに解雇してしまえば、もうやらなくていいと思っているのではないか。そんなことはないか。これは言い過ぎか。ここでやると言ったことをやっていないという、簡単なことをやらないということに、すごい不信感がある。前から昔から不信感があったが、更に不信感が深まったという話だ。言い訳はいらないから本当にちゃんとしてほしい。今思うのは本当に勝高なんかに来てほしくなかった。2年前だったら、これを聞いていたら反対している。愚痴を言わせていただいて最後に一つだけ、中学校再編の基本計画はホームページとかで公表されていると思うが、あの中で部活動については、十分に活動に専念できるように対応しますと書いてあったと思うが、これは当然全ての部活に適用されるというふうに考えてよろしいか。今後野球部が長山公園グラウンド、まあどこでもいいが、十分に部活動に専念できる環境を作るという、時間がかかるかもしれないが、開校までにするというそういう認識でよろしいか。書いてあるのだから。
- 事務局 ・書いてあるのはそうで、精一杯努力する。
- 委員 37 ・努力をすることを書くのではない。あれは市民との約束だろう。重い。わかって出しているのか。ホームページまで公表して、議会に説明しているのだろう。議決は要らないかもしれないが、議会に説明しているだろう。書いてあることができるように努力します。そうなら努力しますと書かないといけない。やりますと書いている。だからやるということによろしいかと聞いている。できないことを書いたのか。入り口だ。あれに書いてあることはやると書いてあってもできるだけ努力をすると書いてあることです。ということであれば、そもそも再編準備委員会自体がおかしくなるだろう。やるのですよねという確認だ。別に問い詰めているわけではない。書いてあることはちゃんとするのですねいう単純な確認だ。
- 事務局 ・計画なので頑張るということは書いたと思うが、100%できませんということではない。
- 委員 38 ・議事録に載る。あこに書いてあることは100%できることを書いてあるわけではないということを議会には説明したのか。
- 事務局 ・そんなことはない。
- 委員 39 ・できないことを前提に話されているが。
- 事務局 ・いやいや。
- 委員 40 ・やるのだろう。あこに書いてあることは実現させるのだろう。
- 事務局 ・計画にはそのように書いているので。ただ、今すぐできることと、時間かかることは当然あって、そこはご理解いただきたい。庁内でも何とかネットをつけられないのかという話はしている。やはり現状は難しいと、いろいろな課題があって、学校の方もネットよりも先に優先順位が上がっていると。

- 委員 41 ・先ほどからそれを言っているが、先生に聞いたら、そういう意味合いで言ったわけではないと言っている。ネットはいらないから、ブルペンを先にやってくれと言うのではなくて。
- 事務局 ・要らないとは言われていない。
- 委員 42 ・先にブルペンをやるということか。
- 事務局 ・それはなかなか難しいでしょうから、まずブルペンの方をという話をいただいたので、それはできることなのでそこから着手したということなので、今決してネットを諦めているとかということではないので、もう少し時間をいただきたいということしか言えない。
- 委員 43 ・それをきちんと話をしに行ったらどうですか、そうですねと言ったのが10月。移動式もあるかもしれないし、組み立て式もあるかもしれないし、聞きに行かない。計画通りやるのかと言ったら、いやあれは努力しますが100%できるとは限りませんみたいなことを言うからまた不信感。言っても終わらない。
- 部会長 ・少しすみ分けさせていただく。この天井ネットをつけることは構造上、難しいということか。
- 委員 44 ・組み立てとか移動式というのはどう検討されたのか。
- 事務局 ・とにかく、今、他の団体も使うということで。
- 委員 45 ・移動式はどうかと言ったがどんな検討をしたのか。していないだろう。
- 事務局 ・だから春になってもう一度つけている学校を見に行き、どういうことが検討できるかを考えることにしていた。とりあえず今できるところをまずさせてください。
- 部会長 ・野球部にとっては大事な検討だとは思う。多分、再編の中でいろいろ備品の整理だとか、最後に上がったサインの計画だとか、そういう業務についても一方では大事な課題ではあるので、全部を優先で詰められるといいのだが、業務の中でいろいろ今の時期はこれという判断でされているのではないかなと思う。ただ今の意見も大事なので、少し先生とどういう形で取り組むかという話は少し文章とかで残しながらやっていったらいいのではないかなと思った。ネット工事を待ってから他の工事を進めていくのか、ネット工事を待たずに施設のほかの工事を進めていくとか、そこら辺の三者の考え方。そのあたりを少しやっていかないといけないと思うので、少し話をして進めさせていただければかなと思う。サインの件で伝えたかったのだが、サインも自分の中で結構大事なデザインだと思っている。いろんなサインの考え方があると思うが、そこはコンセプト、先ほどの外観と同じになる。コンセプトに沿ったデザインというものを考えていただければと思うし、おそらく~~未~~設計が何かしらサイン計画は出されるのではないかな。
- 事務局 ・中には入っている。
- 部会長 ・多分出てくると思うので、そのあたりをやっていただければと思う。地層というところから、発想されるものがないかなと自分は思っている。サインは別の考えでやったとなると、あのコンセプトはなんだったのかという話になる。外観はこれでやったのだから、サインもこれでやるという方がいいと思う。では、そろそろ終了したいと思うが、他に何か意見とかは大丈夫か。今年度の施設整備部会はこれが最後となる。1年間貴重なご意見をいただきあ

りがとうございました。また夜遅くまで会議にご参加いただきありがとうございます。関係者については次年度も施設整備部会はあると思うのでまた選ばれた際には是非ご協力をお願いしたいと思う。では事務局の方にお返しする。

事務局 ・本日はどうもありがとうございました。多くの意見をいただき、ありがとうございました。本日の意見は精査して準備委員会に報告したいと思う。どうもありがとうございました。

資料1．新中学校校舎等建設工事について

資料2．地下横断歩道建設工事について

資料3．給食調理業務委託について（案）

資料4．備品精査について（案）